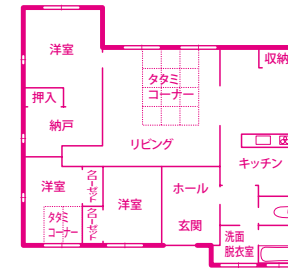


## 木の良さを最大限に生かした 匠の技の本格木造住宅

> S邸Housing data

家族構成／夫婦+子ども2人 竣工／2012年2月  
構造／木造軸組工法平屋建 延床面積／126.28㎡ (38.20坪)



1st Floor



1

**古** 古民家風の平屋造りが懐かしい和の佇まいを感じさせるS邸。家づくりを任せられた山内建匠の匠とは幼なじみの仲、というS主人。三代目を受け継ぐ腕の立つ大工であることは以前から知っており、家を建てるなら彼に、と決めていたのだそう。平屋建てで間取りにこだわったS邸のなかでも、もっともこだわったのが木の良さを生かした家づくり。木材の種類や特徴を熟知する匠から木の適材適所の提案を受け、各部位や空間に合った無垢材を使用。なかでも目を引くのは、木目が美しい国産ケヤキの大黒柱。天井の梁に使った6mのヒノキ一本木や杉の天井板も貴重な逸品だ。年月を経たなお味わいが増す、そんな素材の良さが、愛着の持てる住まいを生んでいる。

施工エリア 東予 中予 南予

設計・施工 **山内建匠有限公司**

☎0897-41-0755  
新居浜市大生院149-28  
http://www.kensyou.co.jp/

QRコード  
ケータイから資料請求OK!



8



4



7



6



5

4. 高級感あふれる御影石の玄関土間。上り框にはケヤキを使用しており、人肌と接触する毎に独特な風合を増していく。
5. 軒先の野地板や垂木が職人の技を伺わせる。しっかりとした軒の出は、雨や風から壁を守るだけでなく、夏の陽射しもさえぎってくれる。
6. 軒を支える3本の柱には、天然ヒノキの生節を使うというこだわりよう。
7. 上質の木にこだわり、職人の手によって適材適所に使用されることで、長年住むにつれてさらに木の美しさが増していく。
8. ふんだんに使われた上質の木の中でもひととき目を引くのが、木目が美しい国産ケヤキの大黒柱。全体に赤みがかったケヤキは広いリビングでもその存在感を十分に感じられる。

1. かば桜の無垢フローリングと綾織りの畳敷きで仕上げたリビング。梁に使用した6mのヒノキ一本木が迫力ある空間を創りだす。
2. 珪藻土の壁の白と、重厚感あるいぶし銀の屋根瓦の組み合わせが美しい古民家風の外観。
3. 細かな格子をあしらった職人手作りの建具がダイナミックな空間のワンポイントとなっている。



3



2